

Title	わが国百貨店業界における専門経営者の発生過程
Sub Title	
Author	森田克徳(Morita, Katsunori) 森川英正
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1994
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1994年度経営学 第1129号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001994-1129">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001994-1129</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	森田 克徳	主査	森川 英正
		副査	和田 充夫
			青井 倫一
所属	森川 英正 研究室		

## 我が国百貨店業界における専門経営者の発生過程

わが国企業のトップ経営陣に、専門経営者が進出したことと、そのことが企業を発展させ、わが国資本主義経済発展の大きな特徴であるとする森川説と、それを真っ向から否定する橘川説、また専門経営者の進出と株式所有の分散は無関心であるとする森川説と、これも正面から否定し、株式所有の分散がなければ専門経営者の進出はないとする安部説に関し、「専門経営者の進出があった」「専門経営者の進出に株式所有の分散は必要ではなかった」という仮説を立て、第2次大戦後のわが国の百貨店業界の三越をはじめとする主要企業11社の事例研究を行ったのが、本研究である。

1963、1973、1983、1994年の4時点における各社のトップ・マネジメント構成メンバー（役員会における常務以上）を詳細に検討・分析し、同じく4時点における各社の株式所有の分散状況を検討・分析し、時系列的にこれらを複合させ、各社について詳細に検討した結果、本研究では次の結論を得た。

「わが国百貨店業界に関し、トップ・マネジメント構成メンバーに専門経営者の進出の事実は、明確なトレンドとして存在する」「株式所有の分散は進行せず、逆に集中傾向にある。その集中傾向にもかかわらず、専門経営者の進出は明確に見られる事実である」